

ゆざわジオパーク ジオサイト案内書 3



自分で足湯が作れる「川原の湯っこ」

あきのみや

やくない

火
山

雪

秋ノ宮（役内）／

ジオサイト04

あきのみやおんせんきょう

秋の宮温泉郷

ジオサイト05

湯けむりの里をめぐる

湯沢市ジオパーク推進協議会

ジオサイト紹介

04 秋ノ宮（役内）

秋ノ宮の役内地区では、湯沢最古の岩石（花崗岩：かこうがん）に触れることができます。

また、地すべりで落下したと考えられている唐櫃石（からといし）など、地質や地形に関する見学場所が多い地域です。

05 秋の宮温泉郷

非常に源泉の多い温泉地で、旅館やホテルはそれぞれ源泉を持っています。泉質も、塩化物泉・硫黄泉・単純泉・硫酸塩泉などさまざまです。

また、鯛状珪石（じじょうけいせき）や木の葉石、川原の湯っこなど、温泉に関する見どころが多くあります。

かむろやま かこうがん

① 神室山花崗岩

かむろさん

○ 神室山



神室山は約9700万年前の岩石（花崗岩）が隆起して出来た山で、この岩石は湯沢の基盤岩の中で一番古いものです。一億年前は日本列島は大陸の一部でした。

昔から信仰のあつい山で多くの人が参拝しています。

ろうとう

○ 花崗岩露頭



川井橋の側にある大きな花崗岩の露頭です。

地下深部にあったマグマがゆっくりと冷え固まって大量の花崗岩が作られました。

ここでは、その一部が露出しています。湯沢では東鳥海山の麓や小野城跡付近でも見られます。

めざ しず

② 目覚めの清水



この清水は岩石（花崗岩）の隙間から湧き出している水です。神室信仰の人や有屋峠（ありやとうげ）を越える人たちの力添えの水として利用されました。

現在は小さな公園として整備され、旅行者や地域の人々の憩いの場になってます。

③中山の地すべり

中山地域では、過去の地すべりの跡が見られます。旧中山小学校跡地には、大きな岩や石が多くあり、地すべりによって運ばれたものだと考えられます。

唐櫃石（からといし）は、江戸時代後期の紀行家・菅江真澄が描いた絵図に記されており、当時、すでに地すべりが起きていたことがわかります。



上：唐櫃石周辺の地すべり地形
左下：菅江真澄の描いた唐櫃石
（秋田県立博物館所蔵写本より）
右下：大きな岩の上に平たい石が重なる



その他の見どころ



千代世神社と朴の木（木の幹回りが10.9mあります）



旧川井橋
（近代化産業遺産）

独特の形状をしています

発電用水路 → 3km下流 → 樺山発電所
（近代化産業遺産）



花崗岩露頭近くにあり、川井橋付近の川井堰より取水されています



院内石が使われています

かわら ゆ ①川原の湯っこ



役内川の川原には、温泉が湧き出ている場所があります。ここでは、川原を備え付けのスcoopで掘り、自分で湯船を作って足湯を楽しむことができます。

この地質は、秋ノ宮一帯に分布する約1200万～250万年前の火山活動で出来た岩石です。

あら ゆ ②荒湯 じじょうけいせき ○鮎状珪石



鮎状珪石（じじょうけいせき）は、世界でも極めて珍しくドイツ、台湾とここ湯沢市の3か所でしか確認されていません。また、国の天然記念物に指定されています。

直径1.5～4mmの小さい球状の石が集まってできたものであり、ハタハタの卵に似ていることから「ぶりこ石」とも呼ばれています。

これは、小さな石の破片などを核にして、温泉の成分が固まったものです。

こ はいし ○木の葉石



木の葉石も温泉によって作られるものです。温泉の成分が固まったものに、木の葉の形がくっきりとついています。

また、落ち葉が腐らないうちに表面が温泉の成分でコーティングされたものも見ることが出来ます。

その他にも、現在進行形で化石化しつつある落ち葉もあります。

うまの いし たろうべえ ゆ
③馬乗り石 (太郎兵衛の湯)



塩化物泉



馬乗り石は宿屋「太郎兵衛」の敷地内にあります。

その昔、この石を踏み台にして、馬にまたがったとの言い伝えがあります。ここには、明治元年（1868年）まで湯の岱番所がありました。

たか ゆ
④鷹の湯温泉 塩化物泉



この温泉は、明治14年（1881年）に開湯し地域住民の温泉場としてよく利用されました。

明治43年（1910年）に大洪水ですべてが流されましたが、小山田八兵衛氏が営業を再開させました。

ほう じゅ
⑤宝寿温泉 硫酸塩泉



宝寿温泉は、国道108号沿いにあります。源泉は畑野鉾山跡の凝灰岩のすき間から湧き出ていると考えられています。

鉄分を含んでいるので大気に触れると茶褐色に変わります。

ゆ また おおたき
⑥湯の又大滝



この滝は落差が40mあり、ゆざわジオパークを代表するものです。秋には周りの紅葉が素晴らしく、絶好のビューポイントになっています。この辺の岩石は、虎毛山の火山活動でつくられたものです。断層で東側が隆起したことで段差が生じたため滝になりました。

ゆ また さんさくろ
⑦湯の又散策路



この散策路は、湯の又大滝から高松岳登山道入口まで続く約1.8kmの林道です。平坦でとても歩きやすく森林浴に最適です。

沢の川底に火山灰が固まってできた岩石（凝灰岩）がきれいに露出しており、見ごたえがあります。



湯の又沢の一枚岩



スギの間伐材で架設されている
(環境に優しい橋)「カンキョウ橋」

案内図

秋ノ宮(役内) ジオサイト04



秋の宮温泉郷 ジオサイト05

